

## 安心・安全のまちづくり 市民の皆さんの暮らしを守る

### 安心して生活できる環境を整える

南丹市における災害は、台風や集中豪雨による増水と河川の曲折や山林の乱伐などの悪条件が重なった小河川の氾濫、冬期の降雪による雪害、冬から春に発生しやすい火災、さらに山地災害や地震被害などが予想され、これらに対する適切な対策が必要です。災害を単なる自然現象としてではなく、

社会的に対応が可能な現象として認識し、長期的視点に立つて災害による人的被害、経済的被害を軽減するための備えをより一層充実して、災害に強いまちづくりに努めます。また、地震や大雨、原子力発電所事故などに対しては、国や府、関係機関との連携を強化し、市民生活の安全を守っていきます。



原子力防災訓練



消防団操法大会

## 健全な行財政運営 市民の皆さんにとって「便利な市役所」に

### 施策の融合による効率的な市政推進

南丹市役所(本庁1号庁舎)

近年、地方自治体を取り巻く環境は大きく変わっています。長らく経済の低迷による雇用環境の悪化や税収の落ち込みなどにより、国も地方も財政状況がつかないほど厳しくなる中、地方分権の進展により、各自治体には自らの責任の下、創意・工夫・努力により地方独自の特色あるまちづくりが求められています。

この状況の中、市政推進においては、健全な行財政運営を継続することが重要となっており、施策の融合による効率的な推進と、総合支所と本庁との連携をさらに強め、市民の皆さんにとって「便利な市役所」にしていきます。

## 市民協働のまちづくり 市民の皆さんが主役

### 市民の皆さんとともにまちをつくる

行政運営を進めていく上においては、市民の皆さんが主役であることが大切です。

市民の皆さんとともによりよいまちづくりを進めるため、行政の役割を明確にし、自分たちですべきことは自分たちで、地域ですべきことは地域で、そして住民や地域でできないこ



市民市議員事務局が主催の勉強会(まちづくり勉強会)



「世帯地域の活性化取組」(世帯の里盛り上げ隊)

とや行政がすべきことは行政で実施するという考えのもとに、市民・団体・大学などの協働、まちづくりの核となる地域組織や団体、NPOなどの育成、活動支援を行うなど、協働によるまちづくりを進めます。

## 地域資源の保全と活用 豊かな資源を地域の誇りに

### 地域特性を活用したまちをつくる

南丹市の森林面積は54,300ヘクタールと総面積の88%を占め、芦生研究林やり漢自然公園をはじめとする、天然林や人工林などの豊かな森林資源が存在します。また、由良川と桂川の上流部に位置し、美しい水にも恵まれ、京阪神の水が日吉ダムが設置されています。

これらの豊かな自然は守るべき大切な資産と位置付け、環境や景観の保全に努めています。併せて伝統的建造物群保存地区の



日吉ダムの夕景



るり深[噴瀑]



アユ釣り(由良川)



かやぶきの里

かやぶきの里北集落には、多くのかやぶき民家が現存し、国内外から多くの観光客が訪れます。

一方で、豊かな地域資源を活用したこだわりの農産物が生産され、南丹ブランド「ほんまもん」を確立させるため、農林水産業の振興を図っています。また、ものづくりの拠点として整備された「京都新光悦村」や地域の商工業、観光業においても地域特性や資源を生かした事業を展開しています。

## 子どもを育てやすいまちをつくる

子どもたちは、将来の南丹市を担ってくれる大切な存在です。「教育環境の整備」と「子育て支援の充実」を行います。

### より豊かな育ちと学びをつくる



急速な少子化が進行している南丹市では、児童一人一人のより豊かな学びと育ちを最大限に促すことができる学校の教育環境整備は、最も重要な課題の一つです。より多くの同級生による学び合いが可能となる小学校の再編を進めています。多くの同級生と切磋琢磨する環境の中で、知識や理解力を育むことはもとより、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの「確かな学力」を育成します。そのため、個に応じたきめ細かい指導を進め、授業改善や指導方法の工夫改善を図ります。

### 教育環境の整備

## 安心して子育てでできるまち

遠距離通学の児童・生徒への通学補助などの支援を行うとともに、安全確保の目的も含めたスクールバスの運行に努めます。

### 子育て支援の充実

子どもの発達や学びの連続性を大切にするため、保育所・幼稚園・小学校の連携強化を図り、さまざまな事業を進めて、小学校を接点として中学校との連携強化を進めます。



相談事業(イメージ)

### 地域全体で子育てを支援

地域全体で子育てを支援する仕組みをつくるため、子育てすこやかセンターを拠点に地域での巡回事業を行うとともに、子育て中の親子が気軽に集える場として、子育て広場など「居場所」の拡充を図っています。

また、子育ての援助を受けた人への援助を行う人との相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業の周知と会員拡大、有効活用を図る中で、地域での子育て支援の仕組みを確立します。

妊婦が、安全な出産を目指して、自身の身体と胎児の健康維持増進に心掛けることができる体制を構築するとともに、地域、行政、家庭が一体となって支え見守る社会的な環境づくりを推進します。

## 住みやすいまちをつくる

このまちに住んでよかったこんなまちに住みたい



### 住みよいまちづくり

## 生涯充実して暮らせるまち

人口減少や高齢化の進展が、大きな社会問題となっており、国として地方創生の取り組みが進められています。南丹市においても、市民の皆様と一緒にこの課題に積極的に立ち向かい、安心して生活できる、活力あるまちをつくっていきます。

そのために、人々が「住んでみたい」、「住み続けたい」と思っていたらいいよう、デマンドバスや交流施設を拡充するなど、暮らしやすいまちづくりを進めるとともに、区画整理事業の

### 定住の相談

「南丹市に住んでみたい」、「南丹市に住み続けたい」方々の定住に関する相談ができる相談窓口を設置し、定住促進を進めます。

促進や空き家バンクの取り組みなどを展開し、地域ごとの課題に向き合い、それぞれの特色を生かした定住促進を図っていきます。